

いつもげんきにスイッチオン!

そらへのぼったストーブ

きょうは おしよがつつ。ストーブは だれよりも はやくおきてへやを あたためてくれましたが、ちっとも あさに なりません。

「おかしいな」
そこで、たいようのところへ ようすをみにいくと、たいようは、かせで、ねこんでいました。「ちようどよかった。かわつてくれないか」
ストーブは、たいようのかわりに、そらへのぼることにしました。

ちへいせんから、ストーブがかおをだすと、はつひのてを、まっていたひとたちは、びっくり、びっくり、ひっくりかえってしまいました。
「こんなの、おしよがつつじゃないよー」
みんなが、がっかり、ねごろんでしまったので、ストーブは、おもちゃをやって、おそつにつくると、
「はい。これで、おしよがつつ」と、みんなに、くばりました。
(ぶん・つえき まさのぶ／え・いさき けいこ)



体を動かして遊ばば、体も心もポッカポカ いつでも どこでも 親子で仲よく

子どもは風の子、大人は火の子——耳にすることが少なくなった言葉の一つ。子どもは寒い風をいわずに活発に外で遊び、大人は家のなかで火にあたって暖まっているという意味の言葉。昔の子どもたちのように、寒いから体のなかから暖まる“おしくらまんじゅう”をして遊ぶこともなくなりました。寒さ、暑さにかかわらず、スポーツをするなら専用の道具を用意して、専用の場所で楽しむことというように、身近なところで手軽に体を動かして遊ぶことが少なくなったようです。今月は、手軽にできる〈運動遊び〉を体育のスタッフに教えてもらいました。

※遊びの名前はすべて、(こどもの城)独自の呼び方です

友だちといっしょに 〈運動遊び〉

立ち上がったたり、座ったり、歩いたり、走ったり、跳びはねたり、ものを持ち上げたり——ふだんの暮らしのなかでも、たくさん体を動かしています。しかし、自動車などの便利な道具がいっぱいで、以前ほど体を動かさなくてすむようになりました。だからこそ、体を動かして遊ぶことが大切になっているのです。

ヨロヨロしないようにバランスをとりながら、片足で立ったままくつしたをはいたり、ぬいだりします。ふつうの着がえですが、お父さんと並んで早さをきそえは、ちょっとした“体を動かす遊び”になります。

新聞紙、ティッシュ、タオル(てぬぐい)、レジ袋などを使うと、いろいろな“体を動かす遊び”ができます。丸めた新聞紙を使った「ちゃんばら」は、おじいちゃんの世代も楽しんだことがある遊びです。

〈あそび〉の“もと”は、あちらこちらにあります。“おもしろそう”とか、“ちょっと練習すればできるかもしれない”という気持ちが、〈あそび〉を生み出す力になります。家族で、独自の〈あそび〉を作るのも楽しいかもしれません。

力くらべの〈あそび〉です。道具は使いません。

□かめおこし□
一人が床の上うつぶせになりもう一人はうつぶせの人をひっくり返します。ひっくり返されないように力を入ると、なかなかひっくり返せません。もちろんくすぐるのは反則。全身を使う運動になります。

□人間つな引き□
たがいに、右手で相手の右の右手首をにぎるようにつまみ。右足の側面同士をつけて、つな引きのように引っぱりあいます。ポイントは手のつなぎ方。2人が同時にはなさないかぎり、手はつながったままです。

対戦型の〈あそび〉です。道具は使いません。

□けんけん相撲□
土俵を決めます。たがいにうでを組み、けんけんで体を寄せ、土俵の外に押し出します。両足が地面についたら負けになります。

□つるかめ相撲□
一人はけんけん(つる)、ひとはしゃがんで、“あひる歩き”で動きます(かめ)。土俵を決めて相撲をとります。土俵の外に押し出されるか、つるは両足をついたら、かめはひっくりかえったら負けになります。安定した姿勢か、動きの素早さか——意外な展開がくりひろげられます。

□ひっぱり相撲□
タオルを使います。たがいに、体の同じ部分で同じようにタオルをはさみます。ひざとひざの間、わきの下、あごと肩の間——タオルがはさめるところなら、どこでもかまいません。ぬきとったら勝ちになります。はさむ所によっては、自分から動き出さないほうが有利な場合もあるようです。

□リフティング□
レジ袋を使います。袋のなかに空気を入れてから手さげの部分と結び、”軽いボール”ができます。けつでもはずます、落ちてくるのもゆっくりなので、床に落とさないように、足やひざを使ってリフティングを楽しむことができます。紙風船と同じようにして遊ぶこともできます。

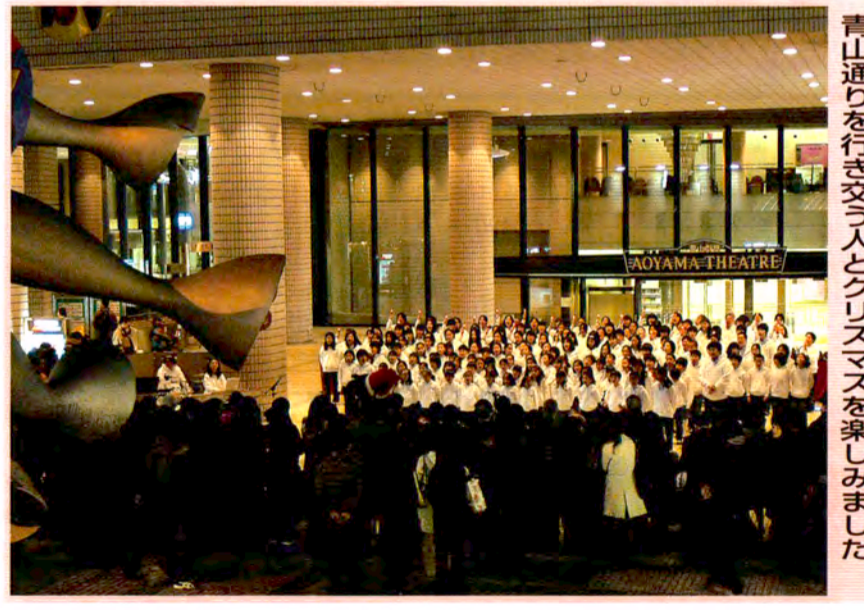
□上からキャッチ□
ティッシュを使います。1枚にみえるティッシュですが、2枚重ねになっているので、それをはがして2枚にします。両手に1枚ずつ持って、上に投げ上げ、ひらひらと落ちてくるのをキャッチします。体を一回転させてからキャッチします。右手で投げたものを左手で、左手で投げたものを右手で取るなど、いろいろなアレンジができます。ジャグリングの基礎練習にもなるそうです。

身近にあるものでこんな〈あそび〉もできます。

あけましておめでとうございませう
本年も「こどもの城」をよろしくお願ひします



体育室で遊んでいたみなさんに、写真撮影に協力してもらいました。



32人の中高生世代が参加し「ティーンズカフェ2010」開く

「自分らしさ」「携帯電話」「人の目が気になる」 3つのテーマでグループごとに自由に話し合い

協阪寿一さん(レーシングドライバー・2009年スーパーGTシリーズチャンピオン)からオープニングメッセージ

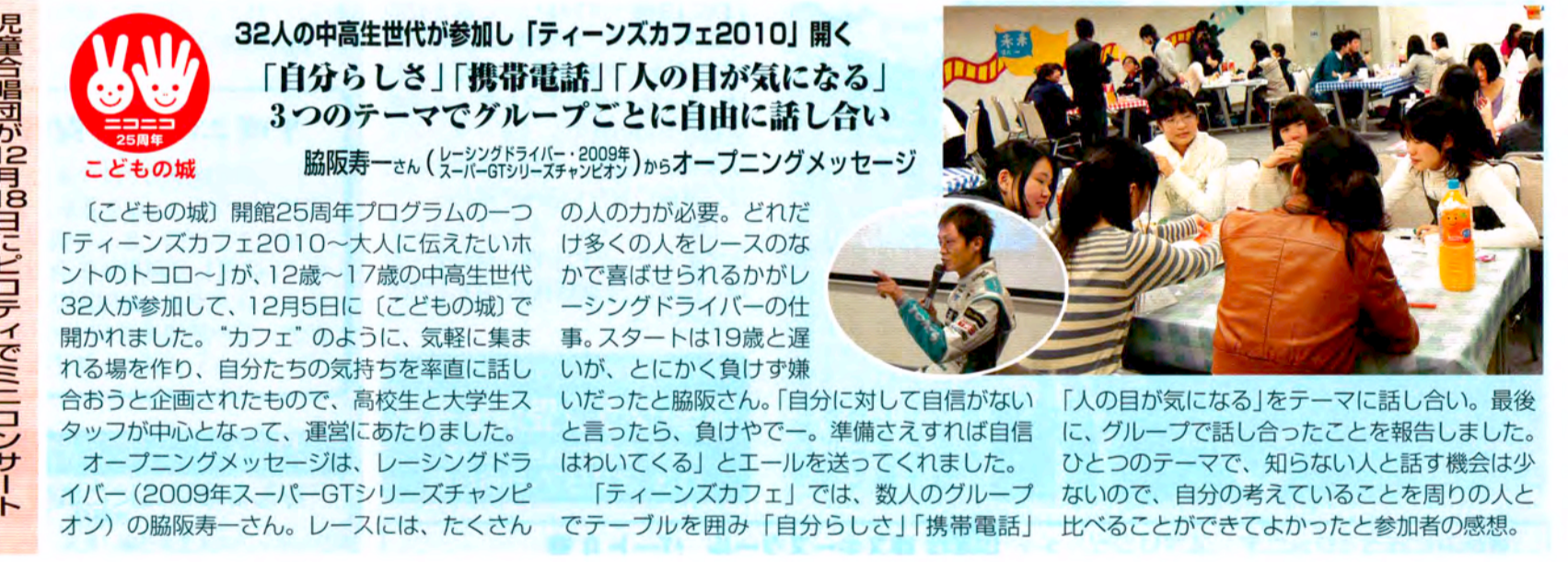
【こどもの城】開館25周年プログラムの一つ「ティーンズカフェ2010~大人に伝えたいホントのトコロ~」が、12歳~17歳の中高生世代32人が参加して、12月5日に(こどもの城)で開かれました。「カフェ」のように、気軽に集まれる場を作り、自分たちの気持ちを率直に話し合おうと企画されたもので、高校生と大学生スタッフが中心となって、運営にあたりました。

オープニングメッセージは、レーシングドライバー(2009年スーパーGTシリーズチャンピオン)の協阪寿一さん。レースには、たくさん

の人の力が必要。どれだけ多くの人をレースのなかで喜ばせられるかがレーシングドライバーの仕事。スタートは19歳と遅いが、とにかく負けず嫌いだ」と協阪さん。「自分に対して自信がないと言ったら、負けやでー。準備さえすれば自信はわいてくる」とエールを送ってくれました。

「ティーンズカフェ」では、数人のグループでテーブルを囲み「自分らしさ」「携帯電話」

「人の目が気になる」をテーマに話し合い。最後に、グループで話し合ったことを報告しました。ひとつのテーマで、知らない人と話す機会は少ないので、自分の考えていることを周りの人と比べることができてよかったと参加者の感想。




夢をかたちに。

私たちはいつだって、未来に向かってすすんでいます。
だからいま、未来に向けてつづいています。
自由と安心に満ちたICTサービスと、心をつなげるネットワーク。
そして、美しい地球を守っていく仕組み。すべての夢、かたちにするために。
富士通は、挑みつづけます。

FUJITSU

shaping tomorrow with you

夢をかたちに

3か月～1歳6か月の乳幼児と保護者・妊婦のための
赤ちゃんサロン
 ■日時 1月18日、2月1、15日、3月1、15日/11時～14時
 ■場所 音楽ロビー
 たくさんの赤ちゃんやママさん—子育てをしている「なかま」とのふれあいの場。月齢別に4グループに分かれ、そこに小児科医師、保健師、管理栄養士、臨床心理士が入り、みんなの声を聞きながらアドバイス。赤ちゃんのようすを見ながら情報交換できます。

3か月～2歳11か月の乳幼児と保護者のための
ほかほか広場
 ■日時 1月25日、2月8、22日、3月8日/11時～14時
 ■場所 音楽ロビー
 自由につろいで遊びながら、親子、子どもと子ども、親と親—いろいろなふれあいを楽しむ「子育て広場」。はいはい、たっちして歩く、活発に動く—大きく3つのグループに分かれて過ごします。「遊びの専門スタッフ」が遊びを紹介するコーナーもあります。

1歳～2歳11か月の幼児と保護者のための
よちよちクラブ
 ■日時 1月29日、2月26日/13時30分～14時30分
 ■場所 保育室1
 毎日の生活のなかで子育てを楽しむように、親子遊びを紹介。手遊び、歌遊び、パネルシアターを楽しんだり、簡単にできる「遊べるもの」を作ったりします。定員は各回15組。予約制(保育窓口)ですが、当日参加もできます。

「全国児童館・児童クラブびわ湖大会」開く
「ホンマの笑顔」に会うために話し合い
 第10回「全国児童館・児童クラブびわ湖大会」が、11月20・21日に滋賀県大津市で開かれ、全国から児童館関係者約1,000人が集まりました。主催は、全国児童厚生員研究協議会、[こどもの城]ほかが後援。平成7年2月の東京大会が第1回大会。全国の児童館・児童クラブの職員有志が手弁当で集まって、2年に1回開催。児童館の活性化をめざして、自らの研鑽のための多様な情報交換、交流、児童館活動のPRを行っています。今回のテーマは「豊かな心の子どもの笑顔」を考える—子どもと保護者との関わりについて話し合い。学校や習い事で忙しい子ども、放課後児童クラブのスペースや人数、保護者との関わりなど、さまざまな立場から現状を報告しあい、放課後の子どもについて共通理解を深めました。

1～3月の「こどもの城」のプログラムから

科学・映像遊び
小学生ラボ
 13時～16時/小1～
 プレイホール
 身の回りの「？」にチャレンジする「おもしろ体験プログラム」。
 1月15日：あったかいぞ！カイロをつくらう
 3月5日：竹をけすらう
 6日：計算器をつくらう！

音楽遊び
ポコアポコ土曜音楽倶楽部
 14時30分～15時20分/小3～
 音楽ロビー
 じっくり楽器の演奏に取り組みます。
 1～3月は、「木琴・鉄琴」。
 1月15、22、29日、2月5、19、26日、3月5、12、19日：木琴・鉄琴
運動遊び
ビッグサタデー
 10時30分～11時45分/小4～
 体育室
 基礎練習から作戦を考えたゲームまで、本格的にスポーツを楽しみます。
 1月15、22、29日、2月5、12、19、26日、3月5、12、19日：バスケットボール

造形遊び
クリエイティブコーナー
 13時30分～/プログラムより対象年齢異なります
 造形スタジオ
 1～2月は、「節分」「桃の節句」ほかをテーマに造形遊びを楽しみます。
 1月15、16、22、23、29、30日：節分フェルト鬼(小3～)
 2月5、6、11～13日：クルッとつるん通り(小3～)
 2月19、20、26、27日：モビーナ(小3～)

小中学生プログラム

2月11～13日の3日間は、特別プログラム「集まれ！小学生」。スペシャルバージョンを開催します。
 ■小学生ラボスペシャル：機械の中を見よう(小1～)
 ■ポコ・ア・ポコ土曜音楽倶楽部スペシャル：アフリカのタイコ「ジェンベ」(11日、小2～)、日本の伝統楽器「お琴」(12日、小2～)、インドネシアの竹の楽器「アンクルン」(13日、小2～)
 ■ビッグサタデースペシャル：第2回スポーツ鬼ごっこ大会 こどもの城CUP(11日、小1～)、バスケットボール(12日、小3～)、バスケットボール大会(13日、小3～)
 ■クリエイティブコーナースペシャル：クルッとつるん通り(スペシャル素材を用意。小3～)

「こどもの城」の節分
季節の行事を楽しく遊ぶ
 ■こども歳時記 節分■
 (1月14日～2月3日/造形スタジオ)
 ※1月17、24、31日は休館
 親子コーナーでは、帯状の紙につけて、頭に飾ると鬼に変身する「節分変身オニ」。クリエイティブコーナー(小3以上)では、羊毛を巻き付け、縮絨してフェルトのかわいらしい鬼にする「節分フェルト鬼」(1月15、16、22、23、29、30日)を作ります。

「こどもの城」の水泳記録
 23回目を迎える「こどもの城水泳記録会」が12月5日に開かれました。水泳講座の受講生4人が参加して、自分の記録に挑戦。日頃の活動の成果を披露しました。荒井海斗さんと成田健太郎さんの二人には、最優秀選手賞が贈られました。

「こどもの城」のボランティア募集
2月5日に見学会「オープンキャッスル」
 「こどもの城」の「あそびのボランティア」を募集します。18歳以上の健康な学生(進路が決定している高校3年生も可)・社会人で、子どもと遊ぶことが好きで、こどもの城の「ボランティアセミナー」を受講後、定期的に活動できる人なら、だれでも参加できます。
 「ボランティアセミナー」は、2月5日～3月2日の間に7回の講義(主に19時～21時)と2泊3日のミニキャンプ。参加費は8,000円(ミニキャンプ参加費)。2月5日には、こどもの城のボランティア活動を知るための見学会「オープンキャッスル」を開催。参加を希望する人は、事前にお申し込みください。
 「オープンキャッスル」[ボランティアセミナー]のお問い合わせ・お申し込みは、企画研修部(03-3797-5675)へ。

1月から始まる「こどもの城」の講座・クラブ受講生募集
 詳細は、総合案内課・クラブ係へ
03-3797-5666

春休みに「ジュニア・スプリング・キャンプ2011」
 春の芽吹きを感じながら、チャレンジ精神あふれる野外生活を体験。日程：3月27～31日(4泊5日・宿舍泊) / 対象：小3～中3 / 定員：75人 / 場所：国立妙高青少年自然の家(新潟県) / 参加費：46,000円
 ※1月29日正午から先着順に電話で受け付けます。

「こどもの城」の節分
季節の行事を楽しく遊ぶ
 ■こども歳時記 節分■
 (1月14日～2月3日/造形スタジオ)
 ※1月17、24、31日は休館
 親子コーナーでは、帯状の紙につけて、頭に飾ると鬼に変身する「節分変身オニ」。クリエイティブコーナー(小3以上)では、羊毛を巻き付け、縮絨してフェルトのかわいらしい鬼にする「節分フェルト鬼」(1月15、16、22、23、29、30日)を作ります。

「こどもの城」のボランティア募集
2月5日に見学会「オープンキャッスル」
 「こどもの城」の「あそびのボランティア」を募集します。18歳以上の健康な学生(進路が決定している高校3年生も可)・社会人で、子どもと遊ぶことが好きで、こどもの城の「ボランティアセミナー」を受講後、定期的に活動できる人なら、だれでも参加できます。
 「ボランティアセミナー」は、2月5日～3月2日の間に7回の講義(主に19時～21時)と2泊3日のミニキャンプ。参加費は8,000円(ミニキャンプ参加費)。2月5日には、こどもの城のボランティア活動を知るための見学会「オープンキャッスル」を開催。参加を希望する人は、事前にお申し込みください。
 「オープンキャッスル」[ボランティアセミナー]のお問い合わせ・お申し込みは、企画研修部(03-3797-5675)へ。

1月から始まる「こどもの城」の講座・クラブ受講生募集
 詳細は、総合案内課・クラブ係へ
03-3797-5666

春休みに「ジュニア・スプリング・キャンプ2011」
 春の芽吹きを感じながら、チャレンジ精神あふれる野外生活を体験。日程：3月27～31日(4泊5日・宿舍泊) / 対象：小3～中3 / 定員：75人 / 場所：国立妙高青少年自然の家(新潟県) / 参加費：46,000円
 ※1月29日正午から先着順に電話で受け付けます。

「こどもの城」の節分
季節の行事を楽しく遊ぶ
 ■こども歳時記 節分■
 (1月14日～2月3日/造形スタジオ)
 ※1月17、24、31日は休館
 親子コーナーでは、帯状の紙につけて、頭に飾ると鬼に変身する「節分変身オニ」。クリエイティブコーナー(小3以上)では、羊毛を巻き付け、縮絨してフェルトのかわいらしい鬼にする「節分フェルト鬼」(1月15、16、22、23、29、30日)を作ります。

「こどもの城となかまたち」
 8つの分科会にわかれて、話し合いました
 親子コーナー「節分変身オニ」
 保育活動展「こどもようパートVIII」
 作品をとおして子どもたちの成長する姿を
 「幼児グループ」(4・5歳児)を中心に、「保育クラブ」の2～5歳児をふくめた「こどもの城」の保育活動を紹介します。「保育活動展～こどもようパートVIII」が、2月1～13日(開館時間中。7日は休館)にギャラリーで開催されます。

【全国児童館おりがみ作品展巡回開催日程】
 ■札幌市中央児童館(12月4日：月寒公民館/7～10日：中央児童館/11・12日：Ario(アリオ)札幌/18日：札幌コンベンションセンター)
 ■滋賀県東近江市立あかね児童館(平成23年1月5～14日)
 ■山口県児童センター(1月22日～2月4日)
 ■茨城県守谷市北守谷児童センター(2月11～17日)
 ■兵庫県姫路市立北児童センター(2月23～27日)
 ■埼玉県ふじみ市立児童センター(3月5～9日)
 ■京都市久我の杜児童館(3月15～24日)
 ■神戸市総合児童センター べっこランド(3月30日～4月5日)
 ■岩手県洋野町種市放課後児童クラブどりーむキャンパス(4月12～23日)
 ■福岡県宗像ユリックス(4月29日～5月8日)
 ■鹿児島県キッズランド児童館(5月14～27日)
 ■鳥根県出雲町三成児童館(6月2～11日)
 ■えひめこどもの城(6月3～12日)
 ■三重県伊勢市明照児童館(6月18～29日)

2月19・20日に開催する「とり+かえっこ×ドルッチャあそび市」の実行委員メンバーを募集しています
 「新しい遊びの世界」を作る「ドルッチャあそび市」と、使わなくなったおもちゃを交換する「とり+かえっこ」が合体した「とり+かえっこ×ドルッチャあそび市」が、2月19・20日に開催されます。
 「とり+かえっこ×ドルッチャあそび市」は、子どもたちが中心になって、企画・準備・運営するプログラム。「新しい遊びを作りたい」「遊びのお店でみんなを楽しませたい」と考える、核となる実行委員のメンバーを募集しています。小学2年生～高校3年生(高校3年生に準ずる年齢の人)で、1月15日から4回程度の準備活動をして、当日の運営などを担当します。中高生は、小学生とは違う形で全体の運営などにも参加してほしいと考えています。
 「実行委員のメンバーになって、楽しい遊びの世界をつくりませんか」と、「こどもの城」の担当スタッフ。募集定員は、小学生(2年生～)25人、中高生15人。参加費1,500円(活動期間中の入館料と活動費を含む)。
 お申し込み・お問い合わせは、企画研修部(03-3797-5675)へ。

保育活動展～こどもようパートVIII 2月1～13日/ギャラリー
作品をとおして子どもたちの成長する姿を
 「幼児グループ」(4・5歳児)を中心に、「保育クラブ」の2～5歳児をふくめた「こどもの城」の保育活動を紹介します。「保育活動展～こどもようパートVIII」が、2月1～13日(開館時間中。7日は休館)にギャラリーで開催されます。日常の保育活動で取り組んだ、さまざまな造形作品・共同制作物などをとおして、子どもたちの成長を感じ取ってほしいと願って開館展示です。
 今年の「幼児グループ」は、身近

平成23年度「保育クラブ」会員を募集します
 保育研究開発部では平成23年度「保育クラブ」の会員を募集します。保育クラブは、2～5歳児を対象に、登録して利用する会員制の保育プログラム。集団遊びの場の提供、親の時間を確保する「保育プログラム」のほか、親子遊びや家族同士の交流などを楽しむ「家族プログラム」、子育ての周辺情報を提供する「情報提供プログラム」——を利用できます。
 募集要領は以下のとおり。
 □募集対象 2～5歳児(平成17年4月2日～21年4月1日生まれ)

「こどもの城」のボランティアプログラム
 □1月23日 子どもの城映画館 **カナダのアニメーション** 13時35分、14時35分、15時35分
 世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーション。こどもの権利条約をテーマに作られた作品集「ライツ・フロム・ザ・ハート」のなかから、4作品を選んで上映します。
 □「ドアからドアへ」(Zabelle Cote監督) / 「オレンジ」(Diane Chartrand監督) / 「マリアに家族を」(Lina Gagnon監督) / 「なぜ?」(Brietyay Poirer監督)
 □1月30日 手作り楽器のワークショップ **まわす扇笛** 13時30分～14時、15時30分～16時
 ペットボトルのキャップを使った扇笛。糸の先につけて、グルグル回すと、鳥の鳴き声のような音がします。約30分。各回30人(小学1年生以上)。15分前から音楽ロビーで受け付け。

「こどもの城」のボランティアプログラム
 □1月23日 子どもの城映画館 **カナダのアニメーション** 13時35分、14時35分、15時35分
 世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーション。こどもの権利条約をテーマに作られた作品集「ライツ・フロム・ザ・ハート」のなかから、4作品を選んで上映します。
 □「ドアからドアへ」(Zabelle Cote監督) / 「オレンジ」(Diane Chartrand監督) / 「マリアに家族を」(Lina Gagnon監督) / 「なぜ?」(Brietyay Poirer監督)
 □1月30日 手作り楽器のワークショップ **まわす扇笛** 13時30分～14時、15時30分～16時
 ペットボトルのキャップを使った扇笛。糸の先につけて、グルグル回すと、鳥の鳴き声のような音がします。約30分。各回30人(小学1年生以上)。15分前から音楽ロビーで受け付け。

「こどもの城」のボランティアプログラム
 □1月23日 子どもの城映画館 **カナダのアニメーション** 13時35分、14時35分、15時35分
 世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーション。こどもの権利条約をテーマに作られた作品集「ライツ・フロム・ザ・ハート」のなかから、4作品を選んで上映します。
 □「ドアからドアへ」(Zabelle Cote監督) / 「オレンジ」(Diane Chartrand監督) / 「マリアに家族を」(Lina Gagnon監督) / 「なぜ?」(Brietyay Poirer監督)
 □1月30日 手作り楽器のワークショップ **まわす扇笛** 13時30分～14時、15時30分～16時
 ペットボトルのキャップを使った扇笛。糸の先につけて、グルグル回すと、鳥の鳴き声のような音がします。約30分。各回30人(小学1年生以上)。15分前から音楽ロビーで受け付け。

「こどもの城」のボランティアプログラム
 □1月23日 子どもの城映画館 **カナダのアニメーション** 13時35分、14時35分、15時35分
 世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーション。こどもの権利条約をテーマに作られた作品集「ライツ・フロム・ザ・ハート」のなかから、4作品を選んで上映します。
 □「ドアからドアへ」(Zabelle Cote監督) / 「オレンジ」(Diane Chartrand監督) / 「マリアに家族を」(Lina Gagnon監督) / 「なぜ?」(Brietyay Poirer監督)
 □1月30日 手作り楽器のワークショップ **まわす扇笛** 13時30分～14時、15時30分～16時
 ペットボトルのキャップを使った扇笛。糸の先につけて、グルグル回すと、鳥の鳴き声のような音がします。約30分。各回30人(小学1年生以上)。15分前から音楽ロビーで受け付け。

青山劇場
 ●青竹 銀河英雄伝説＝第一章 銀河帝国編＝ 1月7～16日 15時30分、18時、A席＝7,800円(問) 0570-00-3337
 ●TAKARAZUKA WAY TO 100th ANNIVERSARY DREAM TRAIL～宝塚伝説～ 1月23～30日 15時30分、18時、A席＝9,000円(問) 06-6377-3800
 ●愛と青春の家～恋よりも生命よりも～ 1月27日 10～12時、12時、A席＝9,000円、B席＝5,000円、学生席＝3,000円(問) 03-3203-8111

青山円形劇場
 ●第23回こどもの城・キリンファミリーオペレッタ「タントさんのふしぎなストラ～タントさんときょうりゅうのひみつ～」 1月3～9日 15時、18時、A席＝2,800円(問) 03-3797-5678

パンダラコンチャセカンドアルバム公演
 「ちんけさんと大きな女たち」 1月14～23日 18時、A席＝6,800円(問) 045-201-9999
 ●中西俊博 Leapingbow 2011 Reel's Trip～水の記憶～ 1月29～30日 18時、A席＝6,000円(問) 03-3797-5678
 ●金魚(鈴木ユキオ)「HEAR」 2月4～6日 18時、3,500円(当日)＝4,000円(問) 090-5314-9281
 ●ザ・シェイプ・オブ・シングス～モノノカタチ～ 2月10～24日 18時、A席＝8,400円(問) 03-3490-4949

「こどもの城」のボランティアプログラム
 □1月23日 子どもの城映画館 **カナダのアニメーション** 13時35分、14時35分、15時35分
 世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーション。こどもの権利条約をテーマに作られた作品集「ライツ・フロム・ザ・ハート」のなかから、4作品を選んで上映します。
 □「ドアからドアへ」(Zabelle Cote監督) / 「オレンジ」(Diane Chartrand監督) / 「マリアに家族を」(Lina Gagnon監督) / 「なぜ?」(Brietyay Poirer監督)
 □1月30日 手作り楽器のワークショップ **まわす扇笛** 13時30分～14時、15時30分～16時
 ペットボトルのキャップを使った扇笛。糸の先につけて、グルグル回すと、鳥の鳴き声のような音がします。約30分。各回30人(小学1年生以上)。15分前から音楽ロビーで受け付け。